

令和7年度(2025年度) 博物館実習 日程表

兵庫県立人と自然の博物館

No.	テーマ等	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17		
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
ア	<p>「地域資源を活用したフィールドミュージアム実習」</p> <p>当館の活動は、館内の展示や資料整理だけでなく、博物館が有する資料および研究、専門知識や展示のノウハウを生かした、地域との連携活動を行っている。そうした様々な地域資源の発掘と社会還元の手法を、実際の地域でのフィールドワークやワークショップを通して技術修得することを目的とする。</p> <p>(担当:橋本・池田・福本・生野・田中)【定員:8名】</p>			②	③													④	⑤	⑥	⑦	⑧					⑨	⑩			
		セミナー・指導者	セミナー・指導者																座学(AM里山、PM有馬富士)	事前学習青垣キャラバン								エキマエアキチ	エキマエアキチ		
イ	<p>「自然素材を使った親子向けプログラムの企画・実施に関する実習」</p> <p>自然素材(植物など)を使って、小さな子どもとその保護者向けの展示(説明用補助資料等を含む)やプログラムを作成・企画し、来館者とのコミュニケーションに関する実習を行う。</p> <p>(担当 : 小館)【定員 : 3名】</p>		②		③	④	⑤				⑥	⑦	⑧	⑨	⑩																
		セミナー・指導者		セミナー・指導者	セミナー・指導者	等検討	等検討					準備・実施	準備・実施	準備・実施	準備・実施	プログラム実施															
ウ	<p>「標本を知る・学ぶ:自然史標本に関する実習」</p> <p>自然史標本を対象とした収集保存・調査研究活動の意義と実際を理解し、実践する。具体的には、昆虫や植物等の標本収集、作製、整理、登録等々、博物館活動の根幹である「標本」に関するさまざまな業務を行うほか、標本の新たな利用価値について考え、学ぶ。</p> <p>(担当 : 山田・中濱・山崎・李)【定員 : 5名】</p>		②	③	④						⑤	⑥	⑦	⑧			⑨	⑩													
		昆虫採集・標本作製	録昆虫標本の整理・登録	セミナー・指導者								植物標本の作製・整理	植物標本の整理・登録	セミナー・指導者	本業と植物生息域外保全標本作製		外ク採集・多足類の野	本ク製・多足類の標													
エ	<p>「動植物の現地調査、資料整理、アウトリーチの実習」</p> <p>野外での動物調査(ネズミ類)、シダ植物の標本作成と整理、アウトリーチ事業)での昆虫や小動物などでのイベントの実習を行う。</p> <p>(担当 : 鈴木)【定員 : 3名】</p>				②						③	④	⑤		⑥			⑦		⑧	⑨	⑩									
					セミナー・指導者							植物採集、展示用標本準備	展示用生体の準備、植物標本整理	セミナー・指導者		イベント		アウトリーチ(吹田市立博物館)	本整理	本整理	本整理	本整理	本整理								
オ	<p>「自然史博物館の標本および展示製作技術の実習」</p> <p>博物館の実務で必要となる展示と資料の製作技術に関する実習を行う。デジタルコンテンツの製作、樹脂封入標本やプラスチック標本の作成を実際に行い、展示で利用可能なキットを作成する。また、アウトリーチ活動では、実際に水田や河川に出かけて、野外の事象や社会課題について現場で体験する(丹波市での外来生物の駆除や六甲山系の河川)。7/23は希望者のみ丹波市での水生生物観察会に参加可能。</p> <p>(担当 : 三橋)【定員 : 10名】</p>	②	③	④	⑤	⑥	⑦			⑧	⑨	⑩																			
		生野外実習(河川の水)	セミナー・指導者	セミナー・指導者	技術封入標本の作成	樹脂封入標本の作成	プラスチック標本の作成	鳥類・哺乳類の標本作成			よ地理情報システムに	高精細デジタル撮影と3Dスキャン及び出力	まとめ																		

※ 上記日程は、変更となる場合がある。